

医療従事者業務負担軽減計画

令和5年度（2023）病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する新規取り組み

番号	項目	具体的内容	担当部署
1	薬剤師による代行処方	手術予定患者で抗菌薬アレルギーがあるが代替薬に変更していない場合、過体重/肥満患者の投与量が増量されていない場合の抗菌薬の代行処方入力 術後の悪心嘔吐のリスクに基づいた制吐剤の処方がない場合の代行処方入力 術後のせん妄リスクに応じた予防薬、治療薬の処方がない場合の代行処方入力 一般注射で処方されたT P Nオーダを無菌注射に代行して区分変更 疑義照会後の注射箋を代行して出し直す メサペイン錠導入時の検査オーダ代行、処方箋を代行して出し直す	薬剤部
2	食事栄養指導の新規・継続指導依頼予約代行	入院患者の「低栄養」「がん患者」「摂食嚥下機能低下」「糖尿病教育入院」および外来患者の「継続指導依頼」は依頼医の指導の元、原則的に管理栄養士が代行入力を実施する	栄養部
3	栄養スクリーニング、適正な栄養管理の実施	口頭指示あるいは内容の変更など医師の指示を確認した上で締め切り時間経過したものは全件栄養部で代行入力を実施 食事内容や食形態は、S T、看護師と協働の元、医師の指示を確認し提案する	栄養部
4	小児科レスパイト入院の経腸栄養オーダー代行入力の実施	経腸指示が食事オーダー締切時間を超過するため、原則医師の指示に基づき、全件管理栄養士が代行入力を実施し、看護師と情報共有を行う	栄養部
5	病棟担当制栄養管理	管理栄養士は原則病棟担当制とし、病棟の患者の栄養に対して、医師の指示確認や適正な栄養の提案を担当者が実施することで、情報のやり取りやオーダーをする	栄養部
6	MCの業務拡大	泌尿器科におけるNCD登録の入力支援の拡大 針生検、尿管結石、ステント交換等に限定していた入力対象を拡大する	総務課
7	MCの業務拡大	放射線科におけるIVR症例の登録支援 放射線科から新規介入依頼のある「IVR症例の登録」支援	総務課
8	MCの業務拡大	循環器内科から新規介入依頼のある短期クリニカルパス入院患者の退院時要約（研修医が担当する患者を除く）作成支援	総務課
9	総務課への問合せの負担軽減	チャットボットの導入により、勤務時間内外問わず、疑問点や確認事項等が解消され、総務課窓口へ行く必要が無くなる	総務課
10	看護師の業務の拡大	表在化された動脈（シャント）の穿刺を看護師が実施	看護部
11	看護師の業務の拡大	静脈路確保を看護師が実施	看護部
12	看護師の業務の拡大	輸血、造影剤静脈路確保を看護師が実施	看護部
13	看護師の業務の拡大	抗がん剤静脈路確保を看護師が実施	看護部
14	看護師の業務の拡大	胃管挿入胃管抜去を看護師が実施	看護部
15	看護師の業務の拡大	男性膀胱留置カテーテル挿入を看護師が実施	看護部
16	看護師の業務の拡大	診療看護師特定看護師特定の配置及び活用	看護部
17	複数主治医制の実施	入院診療を行う診療科において、複数主治医制を導入 ※一人診療科においてはこの限りではない	負担軽減委員会

医療従事者業務負担軽減計画

令和5年度（2023）病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する新規取り組み

番号	項目	具体的内容	担当部署
18	勤務時間以外の勤務状況の把握	時間外勤務内容の把握し時間外が多い診療科への対応 年次有給休暇の取得率の把握	負担軽減委員会
19	当直者への負担軽減及び連続勤務の回避	月の当直回数の把握 連日当直を行わない体制の構築 手術翌日の、予定手術を行わない体制	負担軽減委員会
20	妊娠・子育て中・介護中の職員に対する配慮	状況に合わせた柔軟に対応できる体制の維持 短時間正規雇用医師の活用	負担軽減委員会
21	オンコール体制の構築	医師の働き方改革に向けた医師の当直体制の見直し	負担軽減委員会
22	TPN調製	50%ブドウ糖注、70%ブドウ糖注が処方されている一般注射を無菌区分に変更し薬剤部で調製	薬剤部
23	定期的内服カートセット対象病棟を拡大	現在5病棟のセットを行っているが5東病棟を追加する	薬剤部
24	食物アレルギー情報取得・オーダー入力	入院栄養窓口や病棟担当管理栄養士が食物アレルギー情報および食事オーダーを確認し、管理する	栄養部
25	臨床検査技師の業務の拡大	内視鏡検査時に検査技師が採血に伴う静脈路確保、電解質輸液の接続、抜針、止血を実施	臨床検査部
26	臨床検査技師の業務の拡大	超音波検査時に検査技師が静脈路に造影剤注入装置を接続、操作、抜針、止血を実施する	臨床検査部
27	総務課への問合せの負担軽減	チャットボットの導入により、勤務時間内外問わず、疑問点や確認事項等が解消され、総務課窓口へ行く必要が無くなる	総務課
28	看護記録の効率化を図る取り組み	テンプレートの活用	看護部
29	セル看護提供方式の定着	各部署でタイムスケジュールを見直し、タイムスケジュール通りに実行できる	看護部
30	適正な人員確保	日勤および夜勤看護補助者の増員	看護部
31	放射線技師による造影剤の投与と投与後の抜針・止血	CTMRI検査時の造影剤の血管内投与と投与後の抜針止血を放射線 技師が実施	画像診断
32	看護師のリーフ体制	夜勤救急外来看護師が、受診患者不在時に病棟リーフに行く体制を整備	看護部
33	病棟看護師の負担軽減	入院透析患者の透析後搬送を透析室看護師が実施	看護部
34	病棟看護師の負担軽減	入院手術患者の術後搬送を手術室看護師が実施	看護部
35	妊娠・子育て中・介護中の職員に対する配慮	状況に合わせた柔軟に対応できる体制の維持 短時間正規雇用の看護職員の活用	看護部
36	多様な勤務形態の導入	特例措置勤務や育児短時間勤務の他に、早出、遅出の複数パターンを取り入れ、個々の働きやすい体制を整備	看護部

医療従事者業務負担軽減計画

令和5年度（2023）病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する新規取り組み

番号	項目	具体的内容	担当部署
37	夜勤負担の軽減	月の夜勤回数の上限を設定	看護部
38	2交代の夜勤に係る配慮	勤務後の歴日の休日の確保 仮眠2時間を含む休憩時間の確保	看護部
39	リハビリテーション科の業務拡大	病棟内リハビリテーション実施件数増加を図り、患者搬送業務のリスクと回数を軽減させる	リハビリ
40	適正な人員確保	常勤（及び非常勤）スタッフの確保	リハビリ
41	SPDによる調剤補助業務	一包化された錠剤の薬袋への詰め作業をSPDが代行	薬剤部
42	診療放射線技師による造影剤注入のための静脈路の確保	厚生労働大臣が指定する告示研修を受け、医療安全管理委員会の承認する教育プログラムを実施し、実際に診療放射線技師が静脈路を確保してCTMRの造影検査を行う	画像診断部
43	確認作業の移管	地域連携で行っている、救急受付でスキャンした紹介状の確認作業の移管	地域連携
44	歯科衛生士業務の拡大	麻酔科受診歯科衛生士介入	歯科口腔外科（医師以外）
45	適正な人員確保	入院時口腔ケア業務開始に伴う人員増員	歯科口腔外科（医師以外）
46	コア業務の時間確保	R P Aの活用範囲を拡大し、医事課のコア業務であるレセプト、査定削減につなげる	医事課
47	総務課への問合せの負担軽減	チャットボットの導入により、勤務時間内外問わず、疑問点や確認事項等が解消され、総務課窓口へ行く必要が無くなる	総務課
48	病棟看護補助者の負担軽減	術後ベッドの作成を、手術室看護補助者が実施	看護部
49	妊娠・子育て中・介護中の職員に対する配慮	状況に合わせた柔軟に対応できる体制の維持	各部署 負担軽減委員会